

みなさんこんにちは！今日は5月3日に大阪府中央区民センターで行われた「全国軽音フェスティバル二次予選」の様子をお届けします。

「ん…？二次予選？」

そうなんです。皆さんが知らない間に（報告していないので、当然ですが…）、しれ〜っと全国大会の一次予選を突破していた英真軽音でした。そしてこの二次予選を勝ち抜けば、6月に大阪城野外音楽堂で開催される本選に進めるということもあり、虎視眈々と牙を磨いて…いや、腕を磨いてきたのでした。

この大会には、「コピー・カヴァー小編成（2～5人）」・「コピー・カヴァー大編成（6人以上）」・「オリジナル（自作曲）」という3部門に、今年から「アジア（アジア圏の日本語以外の言語のもの）」という新部門を加えた計4部門があります。英真軽音は「コピー・カヴァー小編成」に参加しました。この日の出演バンド数は21バンドです。それでは当日の様子をご覧ください。



500人超の規模の会場で



入念にリハを行います



さすがに舞台度胸がついてきたのか「全然緊張せえへん！」と余裕の彼らでしたが、さすがに舞台袖では神妙な空気。しかし浮き足立った感じはなく、落ち着いていました。





コミカルな動きも全員揃えながら、フレデリックの「オドループ」を見事に演奏しました!!  
ノリやすい曲だったので、客席からの熱烈な応援もあり（何と、どこでできたのか彼らのファンも多数いて、楽屋に差し入れまで持参してくれた子もいたそう）、会場は大盛り上がりでした。



演奏後のインタビューも、終始笑顔で和やかに進み、やりきった感でいっぱいの様子です。

終演後、他校の先生方からも「英真めっちゃよかったよ！ピッチもリズムもバッチリやったし、何より客席が凄く盛り上がった。これは本選行けるんじゃない？」や「数年ぶりに聞いたけど、この数年で何があったの？何でこんなにうまくなったんや！」などと、お褒めの言葉をかけていただきました。確かに、普段なら私も「このミスが目立ったなあ」と思うところが多々あり、終わったあとにどう反省会を開こうか考えるのですが、この日はほぼ演奏にミスがなく（ベースラインが少々怪しいところがありました）、客席も大いに盛り上げることができていたため、「これは10年ぶりに大阪城のステージを踏めるか!？」と、少し期待を抱いてしまうほど出来が良かったです。

しかし、やはり一次予選を突破している高校が集まっているだけあってどこもレベルが高く、21バンド中3～5バンドしか選出されないの、「いけるか!？ダメか!？」と気を揉みながら、7日17時の発表を部員とともにパソコンの前で待ち受けていました。

そしてドキドキの結果発表…

しかし残念ながら、そこに英真学園の名前はありませんでした…。世の中そんなに甘くないですね。

しばし部員とともに落胆していましたが、落ち込んでいるヒマはありません。ここで選考に漏れた学校が参加できる発表会が8月2日にあり、そこでもし選ばれれば、東京の大会に招待されるのです。部員たちも、「よっしゃ！次は東京や！！」と息巻いており、次のステージに向けて新たな一歩を踏み出したのでした。

今回は残念でしたが、皆様の応援のおかげで、箸にも棒にもかからなかった数年前の状態から、「全国大会に行けるか！？」という期待を抱くところまでステップアップしてきました。まだまだこれからが楽しみなので、今後ともより一層の応援をよろしくお願い致します！



**おつかれさまでした!!!**